

## 老人クラブの歩み

年次	老人クラブ関係	老人福祉関係及び社会の主な動き
1945	昭和20	<input type="checkbox"/> 8月終戦
1946	21	<input type="checkbox"/> 11/3「日本国憲法」公布（22.5.3施行）
1947	22	<input type="radio"/> 9/15県多可郡野間谷村（現多可町）が9月15日を「としよりの日」と定める
1949	24	4/25三原郡南淡町賀集で老年会結成
1950	25	1/西宮市今津浦風町で老人会「猶社会」結成 <input type="checkbox"/> 1/7 1000円札発行 <input type="checkbox"/> 4/1身体障害者福祉法施行 <input type="radio"/> 5/4「生活保護法」施行 <input type="checkbox"/> 6/25朝鮮戦争勃発 <input type="radio"/> 9/15県、9月15日を「としよりの日」に制定
1951	26	全国社会福祉協議会老人クラブづくりを全国で進める <input type="radio"/> 1/11中央社会福祉協議会発足（全社協） <input type="radio"/> 3/20県社会福祉協議会発足 <input type="radio"/> 3/29「社会福祉事業法」公布（6/1施行） <input type="radio"/> 9/15全国一斉に「としよりの日」の運動展開
1953	28	10/14印南郡阿弥陀村（現高砂市）で「としよりの会結成」
1954	29	7/ 全社協老人クラブ数調査全国112、県21クラブ <input type="radio"/> 5/19「(新)厚生年金保険法」公布・施行
1955	30	<input type="radio"/> 9/1県、福祉事務所を設置 <input type="radio"/> 11/25県「社会保障審議会」を設置 <input type="radio"/> 厚生省、第1回「厚生白書」発表 “人口の急速な高齢化と老人問題の社会的関心の高まりを指摘”
1957	32	10/21県社協地域部に老人会分科会設置決定 <input type="radio"/> 4/1県、養老金条例を制定
1958	33	9/15兵庫県としよりの日記念大会（神戸市国際会館） <input type="radio"/> 12/27「(新)国民健康保険法」公布（翌年施行。国民皆保険体制が確立）
1959	34	5/15西日本老人クラブ大会（大阪） 7/13関西老人クラブ連絡協議会第1回協議会（大阪） <input type="radio"/> 11/1「国民年金法」施行（無拠出制）
1960	35	<b>9/13県老人会連合会結成大会</b> <input type="radio"/> 老齢福祉年金支給開始。月額1,000円
1961	36	2/23西日本老人クラブ連合会発足 12/1県老人会大会を開催（姫路市） <input type="radio"/> 4/1「国民年金法」（拠出制）全面施行。国民皆年金制度確立
1962	37	4/5全国老人クラブ連合会結成大会
1963	38	<b>8/1厚生省老人クラブに対する助成開始</b> 11/7老人福祉法制定を祝う兵庫県老人福祉大会開催（神戸市） 12/15県老連機関紙「兵庫県老連」を創刊 <input type="radio"/> 1/7「老人福祉法」公布（8/1施行） 「としよりの日」は「老人の日」と称される
1964	39	4/1神戸市老人会連合会が県老連から分離 8/1老人福祉法施行1周年記念老人会連合大会（姫路市） <input type="radio"/> 県、6月1日を「善意の日」に制定 <input type="radio"/> 7/1母子福祉法施行 <input type="checkbox"/> 10/1東海道新幹線開業 <input type="checkbox"/> 10/10～24東京オリンピック開催
1965	40	5/21県老連「会員徽章」を制定 <input type="checkbox"/> 2/ベトナム戦争勃発 <input type="checkbox"/> 5/31「国民年金法」一部改正（同日施行）。傷害福祉年金の支給範囲拡大、2万円年金実現。 <input type="checkbox"/> 6/1「厚生年金保険法」一部改正（10/1施行） 厚生年金基金制度創設
1966	41	4/20西日本老人福祉大会（姫路市） 9/15敬老の日制定記念式典（神戸市） 11/11県老連役員会で「老人福祉財団」設立を決める <input type="radio"/> 6/25「老人の日」が「敬老の日」として国民の祝日に制定
1967	42	3/10全老連財団法人認可
1968	43	7/11近畿老人クラブ連絡協議会発足 8/1県老連が新設の県民会館内に、事務局開設 10/21明治百年老人福祉法5周年記念兵庫県老人福祉大会（兵庫県民会館） <input type="checkbox"/> 明治百年
1969	44	4/作品展ブロックごとに開催（～H7年度） 4/ふるさとを育てる運動（民謡・芸能大会）ブロックで実施（～H11年度） <input type="radio"/> 7/1県老人大学「いなみ野学園」開設

年次	老人クラブ関係	老人福祉関係及び社会の主な動き
1970	45 4/1県、小規模老人クラブに対し、活動費を助成 昭和50年度まで <small>10/21・22兵庫県・神戸市主催で近畿ブロック老人クラブリーダー研修会実施（有馬御苑）</small>	<input type="checkbox"/> 3/14～9/13日本万国博覧会 <input type="radio"/> 9/第4回「国際高齢者会議」大阪で開催 <input type="radio"/> 豊かな老後のための国民会議開催
1971	46 4/生産活動「明るい地域づくり運動」を各ブロック実施。 （昭和62年度から社会参加モデル事業に組み込む） 9/15老人福祉財団基金積立金により長寿者に祝品、寝たきり老人に見舞品を贈る。 <b>10/1県老連「財団法人」の認可を受ける</b>	<input type="radio"/> 老齢年金支給開始  <input type="radio"/> 10/1県、老人医療費の公費負担制度実施（75才以上の寝たきり老人）
1972	47 4/「60才の輪を広げる運動」推進（～50年度まで） 4/老人クラブに対する助成費1500円→2000円に増額（以後52年度まで毎年増額、54年度月額4800円） 9/6第1回老人の船 別府市訪問（～56年度まで） 10/13全老連設立10周年記念大会（東京） 10/18老人スポーツ大会の開催（～54年度まで）	<input type="radio"/> 4/1県、老人医療費の公費負担制度実施（71才以上と重度障害者） <input type="checkbox"/> 5/沖縄返還。沖縄県発足 <input type="checkbox"/> 9/29日中共同声明調印
1973	48 4/24全老連「老人クラブ運営指針」策定 4/ローンボウルス大会（～63年度15回大会で廃止） 7/5豪州よりローンボウルス協会会員が来日し、老人会有志と交歓 6/26老人福祉法制定10周年記念全国老人クラブ大会（大阪） 11/13老人福祉法制定10周年記念県大会（姫路市）	<input type="radio"/> 1/1老人福祉法により「老人医療費公費負担制度」開始 <input type="radio"/> 4/1県「県民養金」を「長寿祝金」に改称 <input type="radio"/> 8/1県、老人医療費の公費負担制度改正（67才以上） <input type="radio"/> 10/老齢年金が月額3,300円から5,000円に増額 <input type="checkbox"/> 10/6第4次中東戦争勃発。石油危機（オイルショック）の発生
1974	49 3/「兵庫県むかしむかし」の発行 4/1「ひとり暮らし老人を訪ねる運動」の推進（愛の一声運動）（～11年度） 10/1「老人クラブ活動推進員」制度開始、県老連1名 10/1老人福祉大会（明石市） 10/16第3回全国老人クラブ大会（東京）毎年開催	<input type="radio"/> 1/1国民年金法の改正、老齢特別給付制度が新設 <input type="radio"/> 8/1県老人医療費の公費負担制度改正（65才以上）
1975	50	<input type="radio"/> 県「兵庫県福祉センター」を開設 <input type="radio"/> 10/老齢福祉年金が月額13,000円に増額 <input type="checkbox"/> 国連「婦人年」の始まり
1976	51 婦人幹部研修会ブロックで開催（昭和61年より3年間中断～H14年度） 4/スポーツ大会各ブロックで実施（昭和61年度より「社会参加モデル推進事業」に組み込まれた。 <small>10/18・20兵庫県老連主催近畿ブロック老人クラブリーダー研修会実施（有馬御苑）</small>	
1977	52 4/1老人の体力づくりに「早起き歩こう会事業」を実施 9/1「老人クラブ活動推進員」県老連2名に増員	<input type="radio"/> 4/1老人大学「いなみ野学園」に大学院開設 <input type="radio"/> 4/1県高齢者放送大学開設 <input type="radio"/> 9/24(財)兵庫県高齢者生きがい創造協会設立 <input type="radio"/> 老齢福祉年金が月額2万円に増額
1978	53 4/幹部研修会を開催（～62年度から会長研修会とし、平成10年度から18年度まで女性リーダーと合同で開催） 9/3老人福祉法制定15周年記念「老人を囲むふるさとまつり」（播磨中央公園）	<input type="radio"/> 4/県「老人の食事サービス」事業開始 <input type="checkbox"/> 8/12 日中平和友好条約調印
1979	54 1/ ハワイ州へ会員139名が親善訪問 4/1「病にかからぬ運動」を全老連主唱により展開（昭和59年度から「健康をすすめる運動」と改称）	<input type="radio"/> 1/ 65才以上人口、全国で1千万人突破 <input type="radio"/> 4/ディ・サービス事業開始
1980	55	
1981	56 4/茶のみ友達相談事業（平成63年度から友愛活動推進事業に発展） 11/19第1回婦人幹部懇話会（昭和63年から名称が婦人幹部研修会）	<input type="checkbox"/> 3/20～9/15ポトピア '81開幕
1982	57 10/ 全老連会員章制定	<input type="checkbox"/> 4/1 500円硬貨発行 <input type="checkbox"/> 東北・上越新幹線開通
1983	58 9/6老人福祉法制定20周年記念大会（神戸市）	<input type="radio"/> 2/1「老人保健法」施行、老人医療費一部有料化 <input type="checkbox"/> 8/「1980年代経済社会の展望と指針」閣議決定
1984	59 4/1全国老人クラブ一斉に「健康を進める運動」を展開 9/6老人福祉法制定20周年記念大会（神戸市）	<input type="radio"/> 6/1県「コミュニティ憲章」を制定
1985	60 7/24・26兵庫県老連主催近畿ブロック老人クラブリーダー研修会（洲本市）	<input type="radio"/> 4/1県「長寿祝金」条例を改正 <input type="checkbox"/> 4/2「1くにうみ」の祭典開幕 <input type="checkbox"/> 5/1「国民年金法改正法」公布（61/4/1施行） 厚生・国民両年金共通の老齢基礎年金創設

年次	老人クラブ関係	老人福祉関係及び社会の主な動き
1986	61 4/ 国・県助成による「社会参加モデル推進事業」開始 4/1全老連、「健康をすすめる運動に「友愛活動」「社会奉仕の日」を加え、『健康・友愛・奉仕』の全国3大運動開始 4/国・県助成「社会参加モデル推進事業」の実施 平成元年から、高齢者生きがいと健康づくりに統合され打ち切られ、元年は県老連の自主財源で実施した。 6/1県老連黒沢尚男会長が、全老連副会長に就任 9月20日を「社会奉仕の日」に制定 12/県老連「組織・事務・事業検討委員会」設置	○ 4/30「高齢者雇用安定法」公布（10/1施行） ○ 12/22「老人保健法改正法」公布（62/1/1施行） 老人保健施設制度化
1987	62 3/ 県老連「高齢者提言集」“八十年を生きる”を発行 6/16県老連、総務財政・企画事業・調査広報・婦人の4部会を設置 7/市町老連会長研修会を開催（幹部研修を名称変更）～昭和9年） 9/1全老連「老人クラブ保険」を新設 9/27老人福祉法制定25周年記念フェスティバル（市島町）	○ 1/1老人保健法改正、老人医療費一部負担金増額 ○ 4/ 初の老人保健施設設置（日赤中町病院） ○ 6/18県シルバー110番「高齢者総合相談センター」開設 ○ 9/27一人暮らし老人へ緊急通報システムが丹波地域で始動 ○ 11/ 県、長寿社会対策大綱「人生80年いきいきプラン」策定
1988	63 6/1 <b>県老連 名称を「兵庫県老人会連合会」から「兵庫県老人クラブ連合会」に変更</b> 婦人幹部研修会を開催（女性リーダー研修会）（10年から17年度まで市町老連会長と合同研修） 9/27県老連、全国健康福祉祭兵庫県実行委員会に222万円を寄付	○ 10/30第1回全国健康福祉祭ひょうご大会開催 □ 12/30「消費税法」公布（元/4/1施行）
1989	平成 1 4/1厚生省「高齢者の生きがいと健康づくり」推進事業開始 6/20, 21郡市町老連事務局長（担当者）研修会を毎年開催 9/ 長寿番付表を作成（平成18年度で廃止）	□ 1/7昭和天皇崩御。1/8から「平成」スタート ○ 10/1在宅老人介護手当支給事業実施 ○ 10/ 兵庫県長寿社会研究機構設置 □ 4/1消費税（3%）スタート ○ 12/21厚生省ゴールドプラン「高齢者保健福祉推進10ヶ年戦略」策定
1990	2 4/1厚生省、「市町村老人クラブ連合会活動促進費」助成 4/1県老連財団基金目標2億円達成 7/9県老人クラブ実態調査結果発表 9/13県老連創立30周年記念老人クラブ大会開催	○ 4/1県、人生80年いきいきプランを推進 「ひょうご高齢者保健福祉2001年計画」策定 ○ 4/7高齢者の生活情報ラジオ番組「長寿バンザイ」放送開始（ラジ関） □ バブル崩壊
1991	3 3/25「県老連三十年史」出版 4/1心豊かな兵庫を目指し、「老人クラブ県民運動推進事業」始まる（6万円） 4/単位クラブ会長研修を各ブロックで開催 8/12県老連「老人クラブ研究委員会」が発足	○ 9/27「老人保健法」改正（4/1/1施行） □ 7/18雲仙・普賢岳噴火災害
1992	4 4/1新事業「高齢者相互支援推進」モデル事業はじまる（19年度で廃止） 5/1市町老連実態調査（便覧作成）隔年ごとに始める 5/21門脇政夫県老連会長が全老連副会長に就任 7/13新事業「シニアスポーツリーダー研修会」各ブロックで取組、平成8年度から健康づくり推進事業として各ブロック選択実施する（～16年度） 9/16兵庫県町村会長等と県老連役員と福祉懇談会をもつ 10/31第5回ねんりんピックウォークラリー交流会に初めて参加 11/9兵庫県市長会長等と県老連役員と福祉懇談会をもつ	○ 1/ 老人医療費の負担額増額（外来900円/月、入院600円/日） ○ 6/3世界高齢者団体連盟、第1回「世界会議」を開催（インド） ○ 10/16国連総会「高齢者に関する宣言」採択。1999年国際高齢者年に指定
1993	5 3/「『新しい老人クラブづくり』の手引き」初版発行 5/10財団基金の果実で全単位クラブに「社会奉仕の日」の幟配布 8/19県老連と神戸市老連が城崎町で1泊2日で交流会を開催 9/27老人福祉法制定30周年記念「兵庫県老人福祉大会」を西宮市民会館で開催 10『新しい老人クラブづくり』の手引き改定2刷 10/26第22回全国老人クラブ大会を神戸市内で開催	○ 4/ 老人医療費の負担額増額（外来1000円/月、入院700円/日）
1994	6 7/5近畿ブロック老人クラブリーダー研修会を県老連主催 舞子ピラ神戸で開催 8/2ふれあいホームステイ（阪神間の子どもと但馬地区老連との交流。3日間・9研） 7/『新しい老人クラブづくり』の手引き改定3刷 全老連「老人クラブ21世紀プラン」策定。7年度スタート～平成12）	

年次	老人クラブ関係	老人福祉関係及び社会の主な動き
1995	7 2/10阪神・淡路大震災被災4老連（兵庫県・神戸市・大阪府・大阪市）連絡協議会発足 <b>3/22阪神淡路大震災復興対策本部設置</b>	<input type="checkbox"/> 1/17阪神淡路大震災発生(午前5時46分震度7) <input type="checkbox"/> 3/20地下鉄サリン事件 <input type="checkbox"/> 4/ 老人医療費の負担額増額(外来1010円/月、入院700円/日)
1996	8 1/28「阪神・淡路大震災1周年を回想する集い」西宮市で開催 4/単位クラブ会長研修をニューリーダー研修会に名称変更(～14年度) 4/市町老連活性化推進事業を各ブロックモデル市町老連実施(～16年度) 5/20全老連「老人クラブ運営指針」改定 8/12県老連活性化特別委員が発足	<input type="checkbox"/> 4/ 老人医療費の負担額増額(外来1020円/月、入院710円/日) <input type="checkbox"/> 4/1姫路市、中核市に移行
1997	9 1/31「震災の教訓を生かし復興を考える集い」明石市開催 3/30県老連「震災誌」発行 4/1県老連「高齢者のための防災マニュアル」発行 4/1国県補助金のシルバーヘルパー養成研修 事業2日が7ブロックで開催(～18年度まで) 9/『新しい老人クラブづくり』の手引き改定版4刷 <b>11/21「財政構造改革の推進に関する特別措置法案」が可決され、老人クラブ助成費等が来年度から10%3年間削減決定</b>	<input type="checkbox"/> 4/1消費税3%から5%にアップ <input type="checkbox"/> 公的「介護保険法」成立 <input type="checkbox"/> 9/ 老人医療費の負担額増額(外来500円/回、入院1000円/日) <input type="checkbox"/> 12/17「介後保険法」公布(12/4/1施行)
1998	10 1/27「震災3周年復興と感謝の集い」神戸国際会議場で開催 3/31県老連震災対策本部を廃止 4/1老人クラブ助成費基準単価4,800円→4,320円に削減 7/市町老連会長と女性リーダー合同研修会を開催(～17年度) 9/1老人クラブ保険に24時間保険が導入開始 9/7老人福祉法制定35周年記念「兵庫県高齢者福祉大会」津名町で開催 10/22県老連「医薬研修委員会」発足	<input type="checkbox"/> 4/5明石海峡大橋が開通 <input type="checkbox"/> 9/ 老人医療費の負担額増額(外来500円/回、入院1000円/日)
1999	11 2/15「高齢者の健康づくり・予防活動推進事業」で健康増進用器具の一斉購入 3/1懐かしの愛唱歌集発行(5/10第2版) 4/1「シルバーヘルパー養成事業」は国の助成がなく県の単独事業で継続(18年度で廃止) 4/1多紀郡5町合併により篠山市老連発足 4/1老人クラブ助成費基準単価4,320円→3,880円に削減 11/17～19全国の老連活動推進員研修会を舞子ピラで開催(被災地の復興視察)	<input type="checkbox"/> 1/1国連による「国際高齢者年」開始 <input type="checkbox"/> 4/ 老人医療費の負担額増額(外来500円/回、入院1200円/日) <input type="checkbox"/> 6/23男女共同参画基本法成立 <input type="checkbox"/> 地域福祉権利擁護事業制度開始(全社協) <input type="checkbox"/> 「市町村の合併の特例に関する法律」一部改正(平成17年3月31日を期限とする時限立法成立)
2000	12 1/『新しい老人クラブづくり』の手引き改定版5刷 5/19県老連震災復興記念モニュメント除幕式 淡路ハイウェイオアシス 9/13県老連創立40周年記念・阪神淡路大震災5周年記念老人クラブ大会開催 9/13「目で見る復興5年の歩み」発行 9/13「県老連40周年記念100ねんをいきる－健康の秘訣－」発行 12/9県老連40周年記念事業の海外旅行企画(ニュージーランド) 厚生省、介護予防・生活支援事業として制度的補助金となる厚生省、市町老連が行う健康づくり事業に助成 シルバーヘルパー養成事業は県費単独事業で1日研修となる(～18年度)	<input type="checkbox"/> 3/18～9/17ジャパンフローラ2000(淡路花博覧会)開催 <input type="checkbox"/> 3/31「国民年金法」一部改正(4/1施行)支給開始年齢引上げ <input type="checkbox"/> <b>4/1介護保険制度が開始</b> <input type="checkbox"/> 10/1介護保険料半額払開始(65歳以上一年間) <input type="checkbox"/> 65才以上人口、全国で2千万人突破 <input type="checkbox"/> 「健康21」を策定 <input type="checkbox"/> 介護保険法施行により「老人福祉法改正」 <input type="checkbox"/> 4/1「成年後見制度」成立 <input type="checkbox"/> 12/6「老人保健法」一部改正。(13/1/1施行)定率1割負担制の導入(外来3000円、入院37200円)
2001	13 3/31創立40周年記念誌「県老連10年の歩み」発行	<input type="checkbox"/> 県、県民局体制を6から10県民局に再編 <input type="checkbox"/> 1/6国の省庁再編 厚生省は厚生労働省 <input type="checkbox"/> 国民祝日法の改正により「敬老の日」は、9月第3日曜日となる <input type="checkbox"/> 6/22老人福祉法の一部改正。(14/1/1施行)9月15日「老人の日」、「15日から21日まで老人週間」制定 <input type="checkbox"/> 9/11米で同時大規模テロ
2002	14 1/『新しい老人クラブづくり』の手引き改定第4版 3/18ねんりんピックウォークラリーのPRを主な目的に、初めてウォークラリー講習会を姫路市内で開催 4/1東播磨ブロックが北と南に分かれ、県下7ブロックを8ブロックに再編 9/16全国運動「老人の日・老人週間」の取り組み開始 厚生労働省、介護予防・地域支えあい事業	<input type="checkbox"/> 高齢者マル優制度廃止 <input type="checkbox"/> 7/26「医療制度関連法案」成立。70歳以上の医療費、1割又は2割の自己負担。 <input type="checkbox"/> 8/2「健康増進法」策定 <input type="checkbox"/> 県「県民の参画と協働の推進に関する条例」が制定 <input type="checkbox"/> 「高齢者白書」国会に提出 <input type="checkbox"/> 老人医療制度改定

年次	老人クラブ関係	老人福祉関係及び社会の主な動き	
2003	15	<p>1/『新しい老人クラブづくり』の手引き改定第5版</p> <p>4/1県民運動推進事業が老人クラブ活動強化推進事業に変わる</p> <p>4/1厚生労働省、県老連が行う健康づくり事業に助成</p> <p>6/12～13近畿ブロック老人クラブリーダー研修会を本県において開催</p> <p>9/15老人福祉法制定40周年記念「兵庫県老人クラブ大会」を兵庫県公館で開催</p> <p>ふれあいの祭典健康福祉まつりへ参加始まる</p> <p>昭和天皇記念館の建設に募金協力</p>	<p>○ 1/1祝日法の一部改正。(施行)「敬老の日」は、9月第3月曜日となる</p> <p>□ 次世代育成支援対策推進法成立</p>
2004	16	<p>4/1養父4町合併により養父市老連発足</p> <p>11/1氷上郡6町合併により丹波市老連発足</p> <p>11/4台風災害対策本部の設置</p>	<p>○ 12/24厚生労働省痴呆を認知症に名称変更</p> <p>□ 9/29、10/20～21台風16～23号による台風災害</p> <p>□ 10/23新潟県中越地震災害</p>
2005	17	<p>1/11三原郡4町合併により南あわじ市老連発足</p> <p>1/～3/健康づくり実践リーダー研修会を西宮市、西脇市で開催</p> <p>4/1第1次兵庫県老人クラブ会員加入促進増強運動の展開(～22/3)</p> <p>4/1豊岡市、城崎郡3町、出石郡2町合併により新しい豊岡市老連発足</p> <p>4/1朝来郡4町合併により朝来市老連発足</p> <p>4/1津名郡5町合併により淡路市老連発足</p> <p>4/1城崎郡香住町、美方郡村岡町、美方町合併により香美町老連発足</p> <p>4/1兵庫県老連若手委員会設置</p> <p>4/1健康づくり推進事業は、高齢者の体力測定普及推進リーダー研修会として各ブロック実施</p> <p>7/1宍粟郡4町合併により宍粟市老連発足</p> <p>8/～12/健康づくり実践リーダー研修会を加古川市で開催(県下1ヶ所でブロック輪番の実施で開始)</p> <p>9/ 5年ごとに開催の兵庫県老人クラブ大会を「兵庫県高齢者の集い」に名称変更し、毎年開催で開始</p> <p>10/1西脇市、黒田庄町合併により新しい西脇市老連発足</p> <p>10/1龍野市、揖保郡3町合併によりたつの市老連発足</p> <p>10/1佐用町4町合併により新しい佐用町老連発足</p> <p>10/1浜坂町、温泉町合併により新温泉町老連発足</p> <p>10/20元気アップウォークラリー大会(台風災害1周年)</p> <p>10/24三木市、吉川町合併により新しい三木市老連発足</p> <p>11/1多可郡3町合併により多可町老連発足</p> <p>11/7神崎町、大河内町合併により神河町老連発足</p> <p>12/7全国都道府県市老連会長会議を神戸市内で開催</p> <p>12/8高齢者阪神・淡路大震災10周年記念大会開催(全老連・県老連・神戸市老連共催)</p> <p>12/阪神・淡路大震災体験をふまえた記念誌「生きてきて」発行</p>	<p>□ 3/20福岡県西方沖地震</p> <p>□ 4/1個人情報保護法施行</p> <p>□ 4/25尼崎でJR脱線事故</p> <p>○ 福祉医療制度(兵庫県)見直し</p> <p>○ 10/1介護保険法の改正(施行)</p>
2006	18	<p>1/阪神・淡路大震災や台風、戦争体験をふまえた記念誌「生きてきて」発行(追補版)</p> <p>1/18～19第17回全老連女性リーダーセミナーの開催(舞子ピラ)</p> <p>2/11洲本市、五色町合併により新しい洲本市老連発足</p> <p>3/20加東郡3町合併により加東市老連発足</p> <p>3/27姫路市、飾磨郡2町、香寺町、安富町合併により新しい姫路市老連発足</p> <p>3/10阪神・淡路大震災10周年記念植樹の実施</p> <p>3/31災害対策本部の廃止</p> <p>4/1阪神ブロックが北と南に分かれ、県下8ブロックを9ブロックに再編</p> <p>4/1相生市・赤穂市老連が中播磨ブロックから西播磨ブロックへ</p> <p>4/1兵庫県老連から姫路市老連退会</p> <p>4/1市町老連若手委員会育成補助事業のモデル市町老連を各ブロックから1市町老連選定し、若手委員会設置を促進する(～21年度)</p> <p>4/1県委託で、県老連に子育てコーディネーターを配置(～19年度)</p> <p>4/1教育福祉財団助成「高齢者の体力測定」の啓発・普及モデル事業開始(～20年度)</p>	<p>○ 4/1介護保険法の改正(施行)</p> <p>□ 9/30～10/10第61回国民体育大会のじぎく兵庫国体</p> <p>□ 10/14～16第6回全国障害者スポーツ大会のじぎく兵庫大会</p> <p>□ 公益法人会計基準の改正</p>

年次	老人クラブ関係	老人福祉関係及び社会の主な動き
	7/5～6市町老連会長研修会を開催（今年度から会長単独）舞子ピラ 7/19～20市町老連副会長・女性リーダー研修会を舞子ピラで開催 9/ふれいの旅（海外・国内）を事業化の上、開始 11/1ホームページを開設する	
2007	19 4/1機関紙の愛称を「きずな」とする。 4/1生活モニター活動を女性委員会の企画運営で開始 7/27市町老連若手リーダー研修会を舞子ピラで開催 7/19～20市町老連男女役員合同研修会を舞子ピラで開催	<input type="checkbox"/> 3/25石川県能登半島地震災害  <input type="checkbox"/> 7/16新潟県中越沖地震災害
2008	20 4/1市町合併により郡老連廃止 4/1県の行革により老人クラブ助成費等が10%削減。 単位クラブ助成事業月額3,880円→3,500円 県単補助事業(老人クラブ活動強化推進事業)月額5,000円→4,500円 4/1本会の重要事業の推進に顕著な功績のあったブロック・市町老連に報奨金を贈る報奨金贈呈規程を制定 4/1「仲間づくり活動賞」を新設するとともに、「報奨金制度」を設け優良市町老連を顕彰する 7/市町老連若手リーダー研修会を県下4ヶ所で開催	<input type="checkbox"/> 4/1後期高齢者医療制度施行 <input type="checkbox"/> 4/1西宮市、中核市に移行 <input type="checkbox"/> 4/18～5/11全国菓子大博覧会姫路菓子博2008開催 <input type="checkbox"/> 9/15アメリカ合衆国の投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻 これが世界的金融危機（リーマン・ショック）の引き金となる
2009	21 4/1会員の規模おおむね30人以上に老人クラブ等事業運営要綱一部改正 4/1県から高齢者ニュースポーツ活動促進事業の委託3年間受け、普及推進員2名を配置（～23年）1 4/1瑞穂教育福祉財団助成事業「高齢者の体力測定」モデル事業は、「健康ウォーキング」啓発・普及モデル事業に替わる（～23年） 10/5県西・北部豪雨被災地に見舞金を贈呈 3/各市町老連に事務手数料として、1クラブ500円を交付する（～23年度）	<input type="checkbox"/> 8/9県西・北部台風災害 <input type="checkbox"/> 介護保険料改定（県平均保険料4,312円、改定率0.1%） <input type="checkbox"/> 4/1尼崎市、中核市に移行
2010	22 3/12阪神・淡路大震災15周年記念植樹の実施 4/1第2次兵庫県老人クラブ会員加入促進増強運動の展開 4/1県老連愛称制定「のじぎくクラブ兵庫」 4/1ホームページを全面リニューアルする。 4/1市町老連若手委員活動促進事業のモデル市町老連を各ブロックから1市町老連選定し、若手委員の活動を支援する（～25年度） 6/1『いきいき老人クラブ』の手引き発行改定版7刷 9/11県老連創立50周年記念「兵庫県高齢者の集い」開催（三木市） 9/ 創立50周年記念ふれあい・交流の旅「エジプト」訪問	<input type="checkbox"/> 阪神・淡路大震災から15年
2011	23 2/1創立50周年記念誌（兵庫県老連10年の歩み）発行 2/1創立50周年記念『懐かしの愛唱歌集』発行 4/1老人クラブ活動強化事業(県単補助事業)月額4,500円→4,400円 5/25 兵庫県老連から西宮市シニアライフ協会退会 9/25リーフレット「高齢者の防災マニュアル」12.5万部発行 10/台風第12号災害被災県(和歌山県・奈良県)に見舞金を贈る。 10/ 機関誌「きずな」を広報誌「きずな」に変更。 発行部数6万部から12万部に増刷。次年度より年4回発行→2回となる。 10/15～16神戸ふれあいフェスティバル「健康福祉まつり」において兵庫県老連から餅つき・チャリティバザー等を出展 10/24県老連と淡路ブロック共催でグランドゴルフ大会を試行	<input type="checkbox"/> 3/11東北地方太平洋沖地震発生（14時46分震度7）→東日本大震災 東京電力福島第一原発事故  <input type="checkbox"/> 7/24地デジに完全移動(被災地24/3) <input type="checkbox"/> 8/25平成23年台風第12号災害
2012	24 2/27～29東日本大震災被災地宮城県石巻市老連を招待し芦屋市老連と淡路ブロック老連協と交流。 3/ 活動スローガン「楽しくなる 夢中になる 笑顔になる」制定 6/14～15近畿ブロック老人クラブリーダー研修会を本県において開催 9/20福島県老連とのじぎくクラブ兵庫女性・若手委員との交流 9/21「兵庫県高齢者の集い」に福島県大熊町・楡葉町老連が特別出演 11/12～16ふれあい交流の旅（広州・桂林）中国内情勢不安定により中止	
2013	25 4/1財団法人→公益財団法人兵庫県老人クラブ連合会に移行する。 5/1新規のじぎく助成事業を開始	

年次	老人クラブ関係	老人福祉関係及び社会の主な動き
2013	25 6/1若手・女性委員がのじぎくクラブ兵庫農園を開園 9/29～10/2ふれあい交流の旅で、宮城県岩沼市と気仙沼市老連と交流 10/10第1回グラウンドゴルフ県大会を三木防災総合公園で開催	<input type="checkbox"/> 7/21兵庫県知事選挙。168万票を超える得票で井戸知事が4選
2014	26 4/1県単補助事業費月額4,400円→3,500円 新たに健康体操の普及・促進活動費として月額500を補助 4/1全国運動「老人クラブ100万人会員増強運動」開始 4/1兵庫県老人クラブ「2.5万人会員増強運動」推進要領策定 9/16阪神・淡路大震災20年セミナー開催（兵庫県公館） 10/1「賠償責任保険」スタート 10/25健康ウォークラリー講習会を健康ウォークラリー県大会に変更 10/25 8月16日からの大雨による災害に対して、広島市老連へ見舞金を送る 丹波市老連には見舞金と義援金100万円寄与。	<input type="checkbox"/> 4/1消費税率5%から8%にアップ <input type="checkbox"/> 4/1郵便料金変更 はがき50円→52円、定形80円→82円 <input type="checkbox"/> 8月16日からの大雨による災害（広島市・丹波市市島町）
2015	27 4/1西宮市老人クラブ連合会が兵庫県老連に再加入 4/1 県老連分担金1単位クラブ5,000円→4,000円に減額 4/介護保険制度改正に伴い新地域支援事業について市町老連における積極的な対応の呼びかけ 5/27県老連役員改選において初の女性会長誕生	<input type="checkbox"/> 4/1介護保険制度の改正（新地域支援事業の充実等）
2016	28 4/14.16熊本地震災害被災者に対して、義援金の取組と「元気袋と友愛の手紙を届けよう」運動展開	<input type="checkbox"/> 1/マイナンバー開始 <input type="checkbox"/> 4/14.16熊本地震災害 <input type="checkbox"/> 6/19選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げ施行
2017	29 11/20県老連総務大臣表彰受賞	<input type="checkbox"/> 6/9天皇退位特別法が成立
2018	30 7/5～平成30年7月豪雨（元気うちわと募金の呼びかけ） 全国運動「老人クラブ100万人会員増強運動」、並びに 兵庫県老人クラブ「2.5万人会員増強運動」終える	<input type="checkbox"/> 6/18大阪府北部地震 <input type="checkbox"/> 9/6北海道胆振東部地震発生
2019 令和	31	<input type="checkbox"/> 4/30平成の天皇陛下が退位 <input type="checkbox"/> 5/1新元号、「令和」と発表 皇太子徳仁親王殿下が第126代天皇に即位 <input type="checkbox"/> 消費税率8%から10%にアップ